

🌱 **幼穂形成期・出穂期は平年より1日程度早い見込み！** 🌱
～ 穂肥を適期に施用し品質向上を図りましょう！ ～

1. JA えちご中越 越後ながおか地区管内の生育状況（6月20日現在）

- ① 栃尾地域：草丈は長め、茎数は少なめ、葉色・生育の進みは目標値並み。
② 山古志・太田地域：草丈は長め、茎数はやや少なめ、葉色・生育の進みは目標値並み。

	コシヒカリ			
	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (L)	葉色 (SPAD)
栃尾地区全体	41	268	7.8	39.8
山古志・太田	41	288	8.1	39.8
生育目標 (6/20)	37.0	300	7.8	38.0
目標比較 (%±)	111	89～96	0.0～0.3	1.8
前年 (R4)	34	301	7.5	40.9

2. 出穂期の予想と穂肥時期の目安

(6月21日現在 長岡農業普及指導センター)

		予 想		穂肥時期の目安 (出穂前日数)		施肥量
		幼穂形成期	出穂期	1 回目	2 回目	
コシヒカリ	栃尾平坦部	7月10日	8月2日	7月15～18日 (18～15)	7月23日 (10)	けい酸入り エコ・5-5 専用穂肥 上限施用量 18 kg/10 a
	栃尾山間部	7月13日	8月5日	7月18～21日 (18～15)	7月26日 (10)	
	山古志・ 栃尾半蔵金	7月15日	8月7日	7月20～23日 (18～15)	7月28日 (10)	
こしいぶき		6月29日	7月22日	6月29日 (23)	7月8日 (14)	
もち	こがねもち	7月4日	7月27日	7月9～12日 (18～15)	7月17日 (10)	尿素 1 回目:4.5～5.5kg 2 回目:4.5～5.5kg 合計 9～11kg/10a
酒米	五百万石	6月25日	7月18日	6月28日 (20)	7月6日 (12)	
加工用米	ゆきみらい	6月24日	7月17日	6月24日 (23)	7月4日 (13)	

※早生品種は5月1日～5日稚苗移植、中晩生品種は5月10日～15日稚苗移植で予想しています。

田植えが5日前後すると、出穂は2日程度前後します。今後の気象条件で予想は変わります。

※コシヒカリの栃尾山間部、山古志・栃尾半蔵金はJAえちご中越で追加記載。

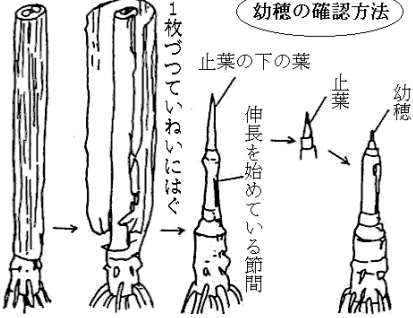
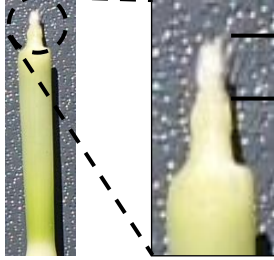
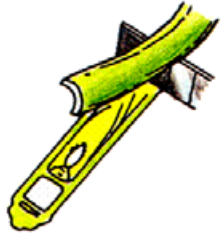
※新之助については後日発表の予定です。

3. 幼穂長からの穂肥時期の把握について

幼穂形成期や発育ステージの把握は、ほ場による生育差が大きいため、出穂予想を参考にしつつ、必ず幼穂長を確認し、適期に穂肥を施用してください。

幼穂長	出穂前	生育ステージ	穂肥時期
1～2mm	23～25日	幼穂形成期	こしいぶき等早生品種の1回目
1cm程度	約18日	花粉母細胞分化期	コシヒカリ等中生品種の1回目
10cm程度	約10日	減数分裂期	2回目の穂肥時期

カッターによる幼穂確認



◎茎の基部をカッターで切るか、手で剥いて幼穂を確認してください。

4. 「こしいぶき」の穂肥について

- ◎1回目穂肥は遅れない！ ◎2回目は確実に実施する！
◎葉色 (SPAD値36、葉色カールスケール4.5) を維持！ (8/10頃まで)
【出穂期が7月22日の場合】

＜こしいぶき穂肥施用時期＞

＜けい酸入りエコ・5-5専用穂肥施用量＞

- 1 回目：6月29日頃 (出穂23日前)
2 回目：7月 8日頃 (出穂14日前)

- 1 回目 8kg/10a
2 回目 10kg/10a

- ① 砂質土壌や低地力ほ場などで毎年生育量が小さく、後期栄養が不足するほ場では「みらい有機831」又は「味好2号」を施用し、収量・品質の向上を図りましょう。
※「味好2号」は速効性肥料ではありませんので、地力の低いほ場では出穂前30～25日頃に施用してください。
- ② 「けい酸入りエコ・5-5専用元肥」の散布量が上限 (30kg/10a) に達していない場合には、エコ・5-5運動特例的対応として 基肥施用量上限への窒素(N)残量相当 を「けい酸入りエコ・5-5専用穂肥」2回目施用時に追加散布することが可能です。
※施用量については、必ず営農センターにご相談願います。
- ③ 1・2回目穂肥を散布しても葉色が薄い場合

有機質100%肥料「フェザーMAX」又は「みらい有機」を追加施用

⇒ 出穂5日前に15kg/10a

＜けい酸入りエコ・5-5専用穂肥施用量＞

＜有機質100%肥料＞

- 1 回目 8kg/10a + 「みらい有機831」又は味好2号 20kg/10a
2 回目 10kg/10a + (基肥上限量の窒素(N)残量相当) + 「フェザーMAX」 15kg/10a

※大豆後・基盤整備後 (盛土部) ほ場では、今後、窒素発現が予想されるため、原則、無施用か減肥するようにしましょう。

5. 「コシヒカリ」の穂肥

(1) コシヒカリ 1 回目穂肥の実施判断のめやす

【幼穂形成期（出穂 2 3 日前）の生育】

草丈70cmの場合：葉色カラスケール3.5以下 (SPAD値34以下)

草丈75cmの場合：葉色カラスケール 3 以下 (SPAD値32以下)

草丈80cmの場合：葉色カラスケール2.5以下 (SPAD値30以下)

→

5 日後の 1 回目穂肥施用時
（出穂 1 8 日前）に、
けい酸入りエコ・5-5 専用穂肥を
8 kg/10a 施用可能です。

※但し、出穂期にかけて低温・少照・多雨が見込まれる場合は、草丈が伸長して倒伏が大きくなる場合があることから、1 回目穂肥時期を遅らせたり施用量を減じたり調整して下さい。
高温・多照・少雨が予想される場合は、葉色がめやすよりやや濃い場合でも、出穂 1 5 日前に施用時期を遅らせて、8 kg/10a 施用して下さい。

【 倒伏防止に向けた高地力、排水不良ほ場における穂肥対応 】

地力が高く、排水が悪い、例年倒伏が心配されるほ場（重粘土壤等）では、1 回目穂肥をパスするか、又は、上記のめやすより 3 ～ 5 日遅く（出穂 15 ～ 12 日前頃）1 回目穂肥を施用することにより、倒伏防止を図りましょう。

【 低地力ほ場における穂肥対応 】

①砂質土壤や低地力ほ場などで例年倒伏がなく後期栄養が不足するほ場では、けい酸入りエコ・5-5専用穂肥に加え、「味好 2 号」を幼穂形成期頃（出穂 2 3 日前頃）に 20kg/10a を追加施用し、品質向上を図りましょう。

② 1 ・ 2 回目穂肥を散布しても葉色が淡い場合
有機質 100% 肥料「フェザーMAX」または「みらい有機 831」を出穂 5 日前迄に 15kg/10a を追加施用しましょう。



(2) コシヒカリの 2 回目穂肥（出穂前 10 日頃）の施用

- ① 2 回目穂肥は、後期栄養を維持するため、専用穂肥 10kg/10a を施用して下さい。
- ② 高温条件下では、2 回目の穂肥を確実に施用し葉色の維持、登熟向上を図りましょう。
- ③ 出穂前 10 日頃の穂肥施用は、稈長の伸長に影響しないため、1 回目の穂肥を施用できなかった場合においても、品質低下防止の観点から**確実に施用して下さい。**
- ④ 1 回目穂肥が出穂前 18 日より遅れた場合は、1 回目穂肥の 7 日後に施用しましょう。
- ⑤ 「けい酸入りエコ・5-5 専用元肥」の散布量が上限（30kg/10a）に達していない場合には、エコ・5-5 運動特例的対応として**基肥施用量上限への窒素(N)残量相当**を「けい酸入りエコ・5-5 専用穂肥」2 回目施用時に追加散布することが可能です。
※施用量については、必ず営農センターにご相談願います。

現在、JA 集荷施設 (CE・RC 除く) での色彩選別処理は行っておりません。
①水田内のヒエ・ホタルイの除草 ②畦畔及び農道の草刈り・除草
③適期薬剤防除 等の斑点米発生防止管理の徹底をお願いいたします。

6. 雑草対策 ～斑点米カメムシの入り込む隙を無くす！～

●Check !

2つのポイント！！

ポイント① 斑点米カメムシ類は稲穂よりもイネ科雑草の穂の方が好きな傾向があります。

ポイント② 草刈りによるイネ科雑草の出穂抑制は最大で 3 週間です。

水稲の出穂期前後各 3 週間にイネ科雑草の穂を出させない雑草管理で
カメムシの発生密度を下げ、水田内への侵入と加害を防ぎましょう。



7. 中干し終了後の飽水管理

中干しは、出穂の 1 ヶ月前までには終了し、飽水管理へ移行してください。



田面の高い部分がしっかり
湛水する程度に入水

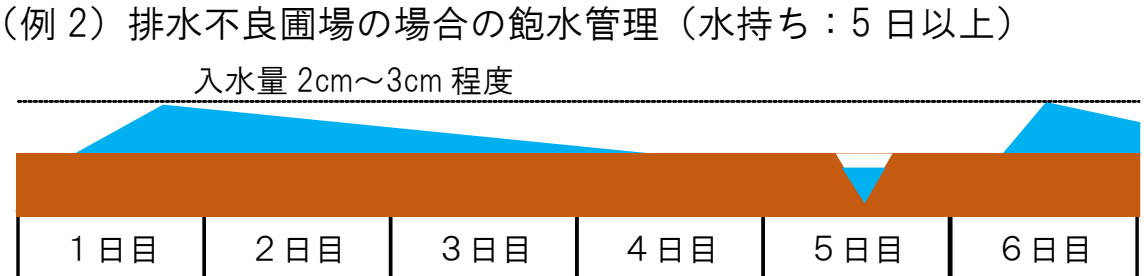
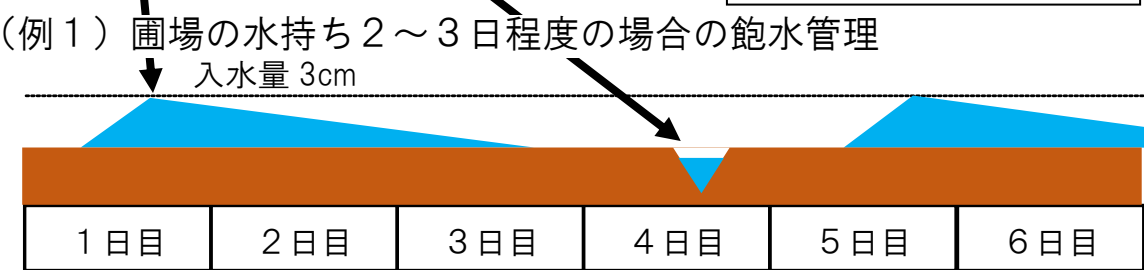


自然に減水し、足跡や溝に
水が残っているうちに再び入水



田面が白く乾いている状態

こんな状態は**乾かしすぎ!!**



<注意> 1 回のかん水で 3 日以上湛水するような水持ちの良いほ場（水はけが悪い）では、**湛水状態にせず、3 日間湛水・3 日間落水を繰り返す間断かん水とし、根の活力維持につとめてください。**
☆間断かん水☆ 湛水状態と落水状態を数日間隔で繰り返す水管理法。（例：3 湛 3 落 等）

お問い合わせ先	ながおか営農センター ☎0120-915882 とちお営農センター ☎0120-915883
---------	--